

2026年度 一般選抜（後期）（英語英文学科）〈特別小論文方式〉

「特別小論文」（2026年3月9日実施）

合否判定の方法	《小論文》《面接》 特別小論文（100点）および面接（100点）により評価する。
合否判定の基準	特別小論文・面接あわせて総合評価120点以上

《小論文》**出題意図**

知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を幅広く測るため、事前に公表される英語英文学科の学びに関連するテーマ・資料の内容を踏まえて、自分の考えを800字以内で論じてもらう。

公表テーマ等

グローバル化の進展に伴い、英語は旅行、仕事、インターネット上のコミュニケーションなど、さまざまな場面で使用されており、その重要性はこれまで以上に高まっています。

しかし近年では、AIによる自動翻訳技術が急速に進歩しています。スマートフォンのアプリを使えば、外国語で書かれた文章を瞬時に翻訳することができ、海外の人との会話も機械にサポートしてもらえる時代になりました。AIの翻訳精度が高まるにつれ、「もはや自分で英語を勉強しなくてもよいのではないか」と考える人も増えています。

一方で、「AIがあっても、人間が英語を学ぶ意味は変わらない」「むしろAIの時代だからこそ、英語学習は必要だ」という意見もあります。AI翻訳は便利な反面、すべてを正確に訳せるわけではなく、文化的背景や相手の気持ちを理解するには限界があるという声もあります。

こうした英語のAI翻訳を取り巻く現状に関して、あなた自身の考えをまとめておいてください。